



歯の根っこの新しい治療法『抗菌性根充法』

歯の根っこの治療方法とは

- 虫歯が進行して、
残念ながら神経(歯髄)を抜かなくてはいけなくなった・・・
- すでに他院で根っこの治療を受けたことがあって、
根っこの病気が再発した・・・

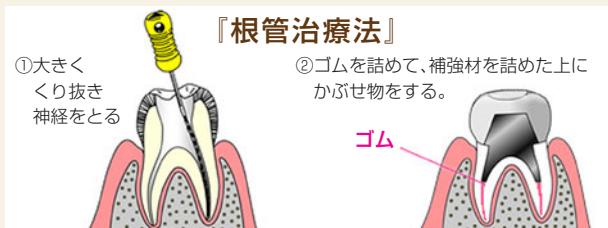
一旦神経を抜いた歯は“死んだ歯”となります。
ここからは歯牙破折(折れたり割れたり)と、
根っこの病気の再発との戦いとなります。



『歯の根っこの中を大きくくり抜いていく』 一般的な根管治療

実は一般的な根っこの治療(根管治療)は、**歯の根っこの中を大きくくり抜いていく**治療なのです。

最終的に、くり抜いた所にゴムのようなものと、金属などの補強材(杭のようなもの)を詰めたり、打ち込んだりします。その上に土台やかぶせ物を作っていくのですが、くり抜けばくり抜くほど、太い補強材(杭)を打ち込めば打ち込むほど、**歯は弱くなって破折しやすくなります**。



また、詰め込むゴムのようなものや、補強材には抗菌性がほとんどありません。つまり、菌に対抗する力が弱いのです。お口の中に住む菌は、酸素が嫌いな菌(嫌気性菌)が多いのですが、根っこの中は、奥まっているので酸素がほとんど届きません。つまり菌が大好きな、繁殖しやすい場所なのです。

生きている歯であれば、体の持つ免疫システムで菌と戦えるのですが、神経を抜いて(抜髄して)死んだ歯は、免疫が働きません。つまり感染を起こしやすいのです。ですから、一回でも根っこの治療(根管治療)をした歯は感染の再発を大変起こしやすいと言えます。

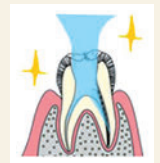
そして一度根っこの治療を終了した歯(根管充填した歯)は、非常に再治療が困難になります。再治療の時は、大きく根っこをくり抜かなくてはなりません。すると再発するたびに歯はくり抜かれ弱っていきます。そしてある日破折して(割れたり折れて)抜歯・・・となってしまいます。

当クリニックの『抗菌性根充法』なら 再発しない!治療回数が大幅に減る!

当クリニックは、この根っこの治療の問題を何とか解決したいと常々考えてきました。色々と研究や試行錯誤の末、ある治療法を開発しました。それが、『**抗菌性根充法**』です。

① 除菌

まず特殊な薬剤を用いて、根っこの中から、根っこの先までをしっかりと除菌します。使用する薬剤は殺菌力が高く、非常に浸透性があるものです。



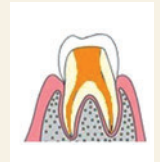
② 詰め物(充填剤)

半永久的に殺菌成分を放出し、体には無害な詰め物(充填剤)をします。この充填剤は、非常に密閉性が高く、歯の表面に食い込んで固まるので、菌が繁殖するスペースが無くなります。



③ 土台 → かぶせ物

その上から、非常に抗菌性が強く、強度もあるセメントで固めてゆき、土台作りをします。あとはお好きなかぶせ物をして終了!



『抗菌性根充法』の特筆すべき点

1. 根っこの治療につきものである、**再発がほとんど起こらない**
2. 歯をほとんどくり抜かず、お薬の力で殺菌していくので、**歯が弱らない**
3. **治療回数がかからない(数回で治る)**
4. 何度も再発を繰り返しているような**難治性の場合でも治せる**
5. 抜歯が必要な**ひどい状態の根っこの病気でも治せる可能性あり**

歯の寿命を延ばし、少しでも長く自分の歯で噛んでいくことは、**健康のためにも、お財布のためにも優しい一番の予防法**なのです。